

## 汚水処理3事業の経営状況

 公共下水道事業の不足額は、確か1㎡当たり59円だったと思うけど、これらの事業はどうかの？

 市営浄化槽事業では、汚れた水をきれいにするために1㎡当たり520円必要なんだけど、使用料収入は131円しかないから389円不足するんだ。それから、共同汚水処理施設事業は331円必要などところ、使用料収入が104円で、227円不足するんだ。

 どちらも公共下水道より不足額が大きいね。

 広い津市全域に公共下水道を整備するのは難しいから、代わりにみんなの合併浄化槽や団地の処理施設を津市が管理することにしたんだ。

 津市が整備できない地域だから、使用料を公平に公共下水道と同じにしているんだね。

 あと農業集落排水事業は異なる使用料体系なんだけど、費用1㎡当たり226円に対して使用料収入は122円で104円不足するんだ。

 それぞれの事業を未来に引き継いでいくために、経営について考えていかなきゃいけないね。

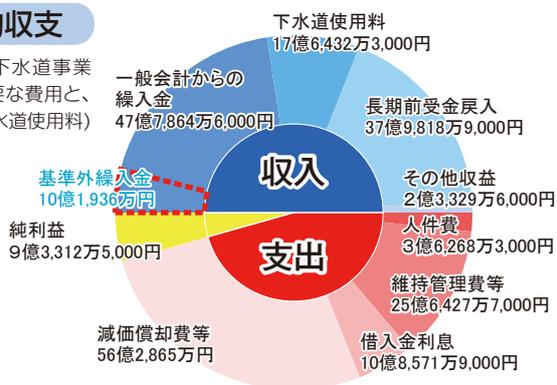
### 各事業の経営状況の比較(平成29年度決算)

		(1㎡当たり)	
市営浄化槽	汚水処理にかかる費用	520円	
	使用料収入	131円	389円 <b>収入不足分</b>
共同汚水処理	汚水処理にかかる費用	331円	
	使用料収入	104円	227円 <b>収入不足分</b>
農業集落排水事業	汚水処理にかかる費用	226円	
	使用料収入	122円	104円 <b>収入不足分</b>

## 令和元年度公共下水道事業予算

### 収益的収支

その年度の下水道事業の提供に必要な費用と、収益(主に下水道使用料)



収益的収入	105億7,445万4,000円
収益的支出	96億4,132万9,000円
純利益	9億3,312万5,000円

※税抜き

 公共下水道事業の令和元年度予算が確定したから紹介するね。

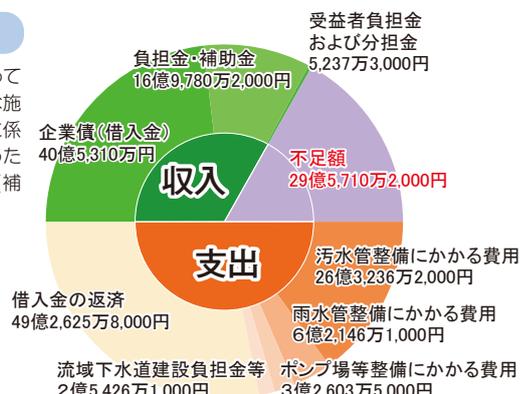
 収益的収支の使用料収入は約17億6,000万円で、新しく接続した地域の分を見込んだ収入額なんだね。

 資本的収支の支出では汚水管渠の整備を推進していくよ。志登茂川処理区を中心に、雲出川左岸処理区やその他の地域でも工事を進めるんだ。

 借入金の返済の金額が大きいね。

### 資本的収支

下水道を将来にわたって維持するために必要な施設の整備や拡充などに係る費用と、それを行うための財源となる収入(補助金や借入金)



資本的収入	58億 327万5,000円
資本的支出	87億6,037万7,000円
収支差引	△29億5,710万2,000円

※税抜き、△はマイナスを表す

 令和元年度は事業のために企業債を約40億円借りるんだけど、返済は元金と利子合わせて60億円以上する見込みなんだよ。

 収入不足を賄うための税金負担は増えるの？

 令和元年度は資金不足を賄うための借入金を増やす予定だから、基準外繰入金は一時的に約6億円程度減る見込みなんだ。でも将来的に借入金の返済が増えるから、今後も厳しい経営が続く見込みだよ。